

平成29年度

公営企業会計決算資料

産業労働部

項 目 頁

公営企業会計における剰余金の処分および決算状況について

1	損益収支の状況	1
2	今後の経営状況	2
3	事業収益の状況	3
4	事業費用の状況	4
5	企業債残高の推移	5

# 平成29年度 福井県公営企業会計における剰余金の処分および決算状況について

## 1 損益収支の状況

平成29年度の公営企業会計については、工業用水道事業会計以下4会計の純利益は合計で12億163万7千円となった。

工業用水道事業会計の事業収益は、7億6,358万円、事業費用は5億7,661万9千円となり、純利益は、1億8,696万1千円となった。この純利益については、企業債償還のための財源として減債積立金に1,320万9千円を積み立てるほか、今後の建設改良の財源として建設改良積立金に1億7,375万2千円を積み立てる。

水道用水供給事業会計の事業収益は、34億1,206万7千円、事業費用は26億560万8千円となり、純利益は、8億645万9千円となった。この純利益については、減債積立金に3億7,876万7千円を積み立てるほか、建設改良積立金に4億2,769万2千円を積み立てる。

臨海工業用地等造成事業会計の事業収益は、3,725万1千円、純利益は、3,725万1千円となった。この純利益は、利益の処分は行わず、翌年度に繰り越すことにより、翌年度繰越利益剰余金は26億5,584万8千円となった。

臨海下水道事業会計の事業収益は、11億744万4千円、事業費用は9億3,647万8千円となり、純利益は、1億7,096万6千円となった。この純利益については、建設改良積立金に1億7,096万6千円を積み立てる。

「その他未処分利益剰余金変動額」については、工業用水道事業会計、水道用水供給事業会計および臨海下水道事業会計の全ての会計について全額を資本金に組み入れる。

(単位:千円)

区 分		工業用水道事業	水道用水供給事業	臨海工業用地等 造成事業	臨海下水道事業	合 計
事業 収 益	営業収益	701,611	2,898,645	0	781,896	4,382,152
	営業外収益	61,969	513,422	37,251	325,548	938,190
	計	763,580	3,412,067	37,251	1,107,444	5,320,342
事業 費 用	営業費用	573,561	2,424,026	0	934,366	3,931,953
	営業外費用	3,058	181,582	0	2,112	186,752
	計	576,619	2,605,608	0	936,478	4,118,705
純 利 益		186,961	806,459	37,251	170,966	1,201,637
前年度繰越利益剰余金		0	0	2,618,597	0	2,618,597
その他未処分利益剰余金変動額		339,856	643,256	0	190,314	1,173,426
当年度未処分利益剰余金		526,817	1,449,715	2,655,848	361,280	4,993,660
利益剰余金処分案		526,817	1,449,715	0	361,280	2,337,812
(1) 減債積立金		13,209	378,767	0	0	391,976
(2) 建設改良積立金		173,752	427,692	0	170,966	772,410
(3) 資本金		339,856	643,256	0	190,314	1,173,426
翌年度繰越利益剰余金		0	0	2,655,848	0	2,655,848

## 2 今後の経営状況

県営第一工業用水道事業については、契約水量は減少したものの、安定した経営状況となっており、今後とも施設の耐震化や更新等の効率的な実施に努め、健全な経営を維持していく。

福井臨海工業用水道事業については、契約水量の増加により経営は安定しており、今後とも水源の確保や管路増設、施設の耐震化や更新等の効率的な実施に努め、健全な経営を維持していく。

坂井地区水道用水供給事業については、順調な経営状況となっており、今後とも施設の耐震化や更新等の効率的な実施に努め、健全な経営を維持していく。

日野川地区水道用水供給事業については、全量給水となった平成25年度からは順調な経営状況となっており、平成28年度に累積欠損金を解消した。今後とも施設の更新等の効率的な実施に努め、健全な経営を維持していく。

臨海工業用地等造成事業については、既存の未売却用地とともに公共用地の転用により、新たな産業用地を拡充していく。今後とも関係部局と一層の連携を図りながら、新たな企業の誘致や造成区画の早期売却に努めていく。

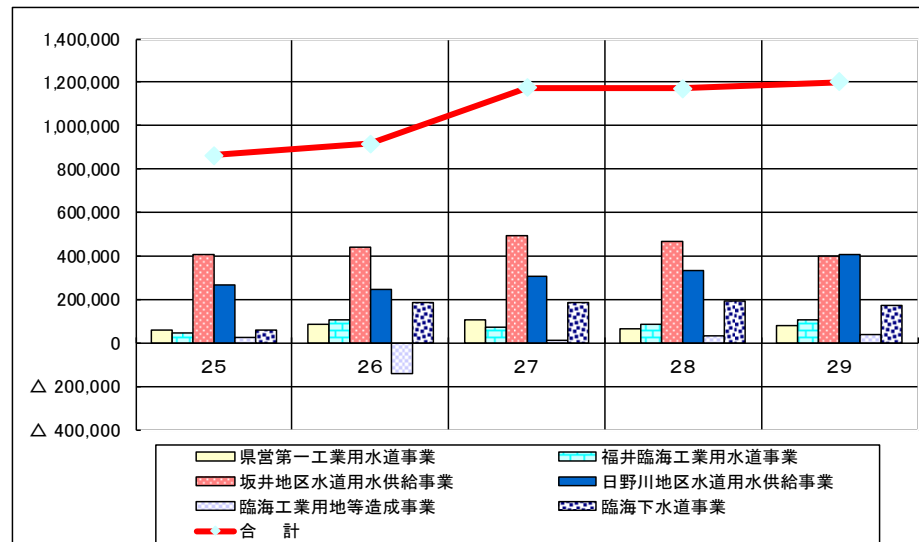
臨海下水道事業については、処理量の増加により経営は安定しており、今後とも施設の耐震化や更新等の効率的な実施に努め、健全な経営を維持していく。

### 公 営 企 業 の 純 利 益 の 推 移

(単位:千円)

会 計	年 度	25	26	27	28	29
県営第一工業用水道事業		60,109	88,317	101,968	66,792	80,200
福井臨海工業用水道事業		47,563	107,645	72,137	86,500	106,761
坂井地区水道用水供給事業		404,775	436,938	492,180	467,799	399,596
日野川地区水道用水供給事業		263,321	244,544	306,841	329,938	406,863
臨海工業用地等造成事業		26,684	△ 142,902	13,999	30,495	37,251
臨海下水道事業		59,166	182,401	188,345	190,314	170,966
合 計		861,618	916,943	1,175,470	1,171,838	1,201,637

(単位:千円)



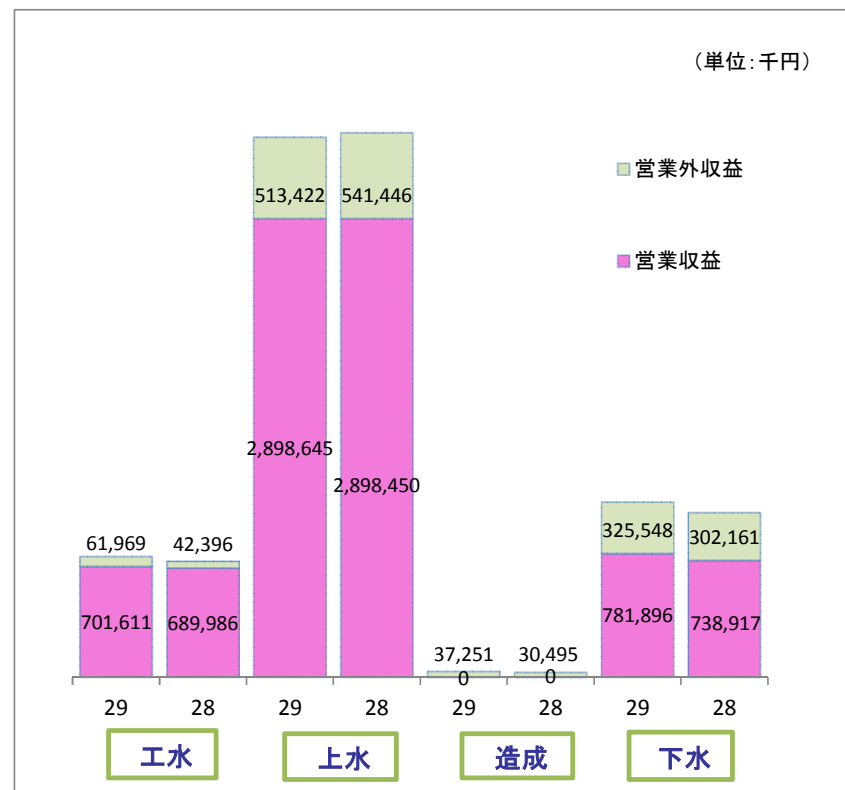
### 3 事業収益の状況

営業収益は、料金収入や土地売却収入を計上している。平成29年度の営業収益は、4会計合計で43億8,215万2千円となり、前年度に比べ5,479万9千円増加した。これは主に、臨海下水道事業の下水処理量が増加したことによるものである。

営業外収益は、受取利息や補助金等を計上している。平成29年度の営業外収益は、4会計合計で9億3,819万円となり、前年度に比べ、2,169万2千円増加した。これは主に、工業用水道事業の修繕引当金戻入益と臨海下水道事業の補助金が増加したことによるものである。

(単位:千円、%)

区 分		年 度		対前年度比	
		29	28	増減額	増減率
工水	営業収益	701,611	689,986	11,625	1.7
	営業外収益	61,969	42,396	19,573	46.2
	合計	763,580	732,382	31,198	4.3
上水	営業収益	2,898,645	2,898,450	195	0.0
	営業外収益	513,422	541,446	△ 28,024	△ 5.2
	合計	3,412,067	3,439,896	△ 27,829	△ 0.8
造成	営業収益	0	0	0	0.0
	営業外収益	37,251	30,495	6,756	22.2
	合計	37,251	30,495	6,756	22.2
下水	営業収益	781,896	738,917	42,979	5.8
	営業外収益	325,548	302,161	23,387	7.7
	合計	1,107,444	1,041,078	66,366	6.4
合計	営業収益	4,382,152	4,327,353	54,799	1.3
	営業外収益	938,190	916,498	21,692	2.4
	合計	5,320,342	5,243,851	76,491	1.5



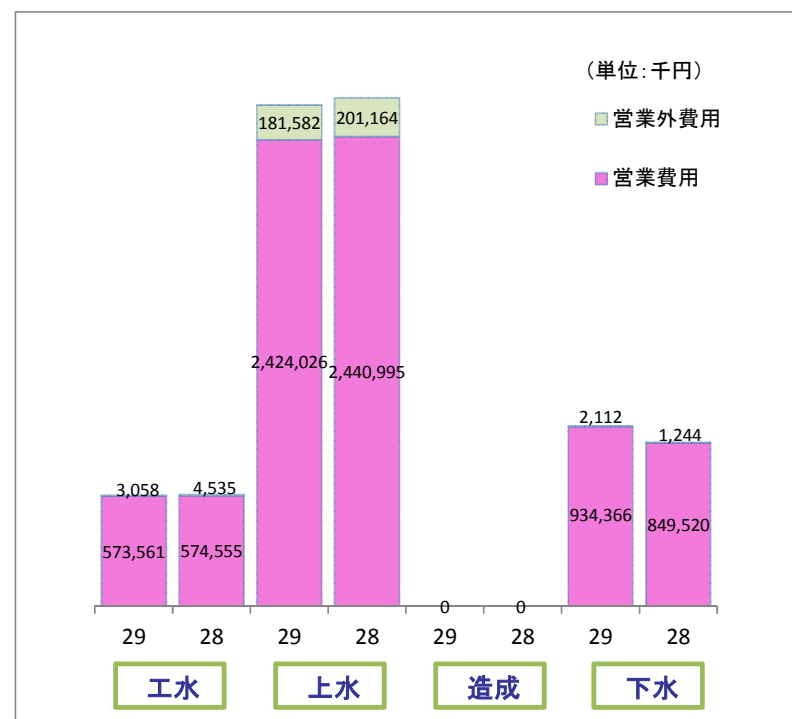
#### 4 事業費用の状況

営業費用は、管理運営費や減価償却費、土地売却原価を計上している。平成29年度の営業費用は、4会計合計で39億3,195万3千円となり、前年度に比べ6,688万3千円増加した。これは主に、臨海下水道事業の委託料の増加によるものである。

営業外費用は、主に企業債の支払利息を計上している。平成29年度の営業外費用は、4会計合計で1億8,675万2千円となり、前年度に比べ2,019万1千円減少した。これは、主に水道用水供給事業の支払利息の減少によるものである。

(単位:千円、%)

年度 区分		29	28	対前年度比	
				増減額	増減率
工水	営業費用	573,561	574,555	△ 994	△ 0.2
	営業外費用	3,058	4,535	△ 1,477	△ 32.6
	合計	576,619	579,090	△ 2,471	△ 0.4
上水	営業費用	2,424,026	2,440,995	△ 16,969	△ 0.7
	営業外費用	181,582	201,164	△ 19,582	△ 9.7
	合計	2,605,608	2,642,159	△ 36,551	△ 1.4
造成	営業費用	0	0	0	0.0
	営業外費用	0	0	0	0.0
	合計	0	0	0	0.0
下水	営業費用	934,366	849,520	84,846	10.0
	営業外費用	2,112	1,244	868	69.8
	合計	936,478	850,764	85,714	10.1
合計	営業費用	3,931,953	3,865,070	66,883	1.7
	営業外費用	186,752	206,943	△ 20,191	△ 9.8
	合計	4,118,705	4,072,013	46,692	1.1



## 5 企業債残高の推移

企業債残高は年々減少しており、平成29度末は、工業用水道事業の4,141万4千円、水道用水供給事業計の80億1,175万3千円の合計80億5,316万7千円となった。

(単位:千円)

会計	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
工水	企業債残高	167,987	138,407	107,492	75,182	41,414
	新規借入額	0	0	0	0	0
	償還額	28,303	29,580	30,915	32,310	33,768
上水	企業債残高	10,832,021	10,029,482	9,276,187	8,601,408	8,011,753
	新規借入額	0	0	0	0	0
	償還額	775,362	802,539	753,295	674,779	589,655
合計	企業債残高	11,000,008	10,167,889	9,383,679	8,676,590	8,053,167
	新規借入額	0	0	0	0	0
	償還額	803,665	832,119	784,210	707,089	623,423

